

# R2成果報告シンポジウムフラッシュトーク(FT)セッションプログラム案

ver. 2021.03.09

## フラッシュトークセッション(1) 3/16(火) 16:15-17:40

1A	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	1-(1)ア	ERL01	加納靖之	加納靖之	歴史地震史料を活用した地震学的解析
2	16:20	1-(1)ア	IRID01	蝦名裕一	蝦名裕一	東北地方における地震・津波・火山情報に関する歴史資料の所在調査とデータ収集
3	16:25	1-(1)ア	NGT_01	片桐昭彦	片桐昭彦	日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析
4	16:30	1-(1)ア	NGY_01	山中佳子	山中佳子	古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明 ~歴史地震情報の可視化システムの構築とその活用~
5	16:35	1-(1)ア	KOBO02	石辺岳男	石辺岳男	有感地震記述ならびに震度の距離減衰式に基づく地震活動解析
6	16:40	1-(1)ア	KOBO18	上相英之	上相英之	みんなで拓本ー地震・津波・火山噴火伝承碑のデジタル収集と解説
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	1-(1)ウ	HKD_01	西村裕一	西村裕一	津波堆積物情報の高度化と実践的活用に関する研究
8	16:55	1-(1)ウ	UTS_01	後藤和久	後藤和久	沿岸巨礫を用いた古津波評価法の検討:南海トラフ~琉球海溝の運動可能性評価に向けて
9	17:00	1-(1)ウ	ERI_02	安田敦	安田敦	マグマ溜まりの時間発展と噴火様式との関連性
10	17:05	1-(1)ウ	TYM_01	石崎泰男	石崎泰男	極小規模噴火を含めた草津白根火山の噴火履歴の解明と噴火ポテンシャル評価
11	17:10	1-(1)ウ	KOBO04	後藤芳彦	後藤芳彦	カルデラ・リサージェンスモデルに基づく北海道屈斜路カルデラの大規模噴火予測
12	17:15	1-(1)ウ	AIST01	吾妻崇	吾妻崇	活断層データベースの整備
13	17:20	1-(1)ウ	AIST02	近藤久雄	近藤久雄	主要活断層帯から生じる連動型地震の古地震学的研究

1B	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	1-(3)イ	THK_02	松澤 暢	松澤 暢	流体の寄与に注目した地震断層すべり物理モデルの高度化
2	16:20	1-(3)イ	AIST05	重松紀生	重松紀生	地質調査と実験に基づく、断層の力学挙動についての三次元モデルの構築
3	16:25	1-(4)ア	ERI_07	大湊隆雄	大湊隆雄	多項目観測データの比較研究に基づく噴火過程の理解とモデル構築
4	16:30	1-(4)ア	THK_03	西村太志	西村太志	噴火発生時刻の即時把握と噴火ダイナミクスの研究
5	16:35	1-(4)ア	TIT_01	野上健治	野上健治	海域火山活動に伴う熱水活動の実験的研究と観測研究
6	16:40	1-(4)ア	TIT_02	野上健治	野上健治	小型拡散放出二酸化炭素率測定装置の開発
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	1-(4)ア	TYM_02	堀田耕平	堀田耕平	富山県弥陀ヶ原火山における地球物理学的観測による火山活動モニタリング
8	16:55	1-(4)イ	HKD_03	吉村俊平	吉村俊平	マグマ脱ガス実験と火山噴出物の揮発性成分解析に基づく噴火分岐メカニズムの解明
9	17:00	1-(4)イ	THK_04	中村美千彦	中村美千彦	浅部貫入マグマの結晶化速度と噴火挙動の推定手法の開発
10	17:05	1-(4)ア	NIED01	藤田英輔	藤田英輔	多角的火山活動評価に関する研究
11	17:10	1-(4)イ	AIST06	篠原宏志	篠原宏志	火山性流体観測に基づく噴火発生過程および火山活動推移の解明
12	17:15	1-(5)ア	KGSM01	八木原寛	八木原寛	南西諸島北部域におけるプレート間すべりの特性に関する地震・地殻変動観測研究
13	17:20	1-(5)ア	AORIO1	朴進午	朴進午	巨大津波を引き起こす震源断層の実態解明と流体変動モニタリング

1C	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	1-(5)イ	HRS_01	小菅正裕	小菅正裕	東北日本弧・千島弧会合部とその周辺における地震発生場の解明
2	16:20	1-(5)イ	DPRIO1	飯尾能久	飯尾能久	内陸地震の発生機構と発生場の解明とモデル化
3	16:25	1-(5)イ	ERI_09	飯高隆	飯高隆	内陸地震発生ポテンシャルの予測を目指した島弧の地殻応答と断層における地殻内流体の影響の解明
4	16:30	1-(5)イ	THK_07	岡田知己	岡田知己	地殻応答による断層への応力載荷過程と断層間相互作用の解明と予測
5	16:35	1-(5)イ	ERI_10	今西祐一	今西祐一	東日本における長期的重力変化の観測とモデリング
6	16:40	1-(5)イ	UTS_04	角森史昭	角森史昭	地殻流体の化学的観測による地震火山活動評価システムの高度化と応用
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	1-(5)オ	DPRIO4	深畑幸俊	岩森光	日本列島の地震ー火山噴火の基本場解明:地殻とマントルにおける応力、流体-マグマ、温度・流動ー変形場
8	16:55	1-(5)ア	JAMS02	石原靖	藤江剛	海底広域変動観測研究
9	17:00	1-(5)ウ	JAMS03	石原靖	田村芳彦	海底火山観測研究
10	17:05	1-(5)ア	AIST07	今西和俊	今西和俊	高分解能地殻応力場の解明と造構造場の研究
11	17:10	2-(1)ア	NGY_02	田所敬一	田所敬一	南西諸島海溝におけるプレート間固着状態の解明
		2-(2)ア	NGY_04	田所敬一	田所敬一	南海トラフ域におけるプレート間固着・滑りの時空間変化の把握
12	17:15	2-(1)イ	ERI_11	篠原雅尚	石山達也	地震発生予測のための島弧-海溝システムの観測-モデリング統合研究
13	17:20	2-(1)イ	UTS_05	安藤亮輔	安藤亮輔	物理モデルと地形・地質学およびテクニクな観測データを統合した地震発生場の長期予測手法の開発と検証

1D	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	2-(3)	RTM_02	川方裕則	川方裕則	地震に先行する極微小な前震活動の異常度評価と発生環境の評価
2	16:20	2-(3)	KOBO07	児玉哲哉	児玉哲哉	地震先行VLF帯電磁波強度減少研究のための超小型衛星のエンジニアリングモデルの製作
3	16:25	2-(3)	KOBO08	織原義明	織原義明	行政等が所有する宏観異常現象に関わるデータを用いた地震発生確率予測
4	16:30	2-(3)	KOBO09	鴨川仁	鴨川仁	地震先行VLF帯電磁波強度減少の統計的評価と発生メカニズムの解明
5	16:35	2-(4)イ	UTS_06	森俊哉	森俊哉	遠隔地火山、特に離島火山における火山ガスモニタリングの高度化
6	16:40	2-(4)イ	KUS_02	大倉敬宏	大倉敬宏	地震・地殻変動モニタリングによる中期的な火山活動の評価
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	2-(4)イ	HKD_04	橋本武志	橋本武志	電磁気・熱・ガス観測に基づく火山活動推移モデルの構築
8	16:55	2-(4)イ	KOBO12	齋藤武士	齋藤武士	火山ガス観測による焼岳火山の活動評価とガス輸送システムの解明
9	17:00	2-(4)イ	KOBO13	鹿兒島涉悟	鹿兒島涉悟	北海道周縁周辺における火山熱水活動の変動に関する地球化学的調査
10	17:05	2-(4)イ	KOBO17	長尾年恭	長尾年恭	富士山頂における全磁力通年観測
11	17:10	2-(4)ア	MFRIO1	吉本充宏	吉本充宏	富士山の事象系統樹を精緻化するための噴火履歴の研究
12	17:15	2-(4)イ	JMA_02	小久保一哉	小久保一哉	地殻変動観測等に基づく火山活動評価の高度化に関する研究
13	17:20	2-(4)イ	JMA_04	山崎明	山崎明	地球電磁気学的手法による火山活動評価の高度化

1E	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	3-(1)ア	NGY_05	鈴木康弘	鈴木康弘 岩城麻子	地表面地震断層の特性を重視した断層近傍の強震動ハザード評価
2	16:20	3-(1)ア	CTOC07	山中浩明	山中浩明	強震動のブラインド予測のための共用地盤モデルの構築に関する研究
3	16:25	3-(1)ア	CTOC01	加藤尚之 松島信一	松島信一	巨大地震のリスク評価の不確実性に関するパラダイム構築の推進
4	16:30	3-(1)ア	CTOC09	松島信一	松島信一	活断層における地殻変動に伴う盆地形成過程から推定される盆地端部での基盤構造を考慮した地震動増幅特性に関する研究
5	16:35	3-(1)ア	CTOC03	望月公廣	望月公廣	定常的地震活動の震源および地震波速度構造の精度向上による地震波動場推定の高度化
6	16:40	3-(1)ウ	ERL16	三宅弘恵	三宅弘恵	堆積平野・堆積盆地における地震災害発生機構の解明
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	3-(1)ウ	TTR_01	香川敬生	香川敬生	地方自治体の地震被害想定、災害リスク評価を高度化するための基盤整備
8	16:55	3-(1)ウ	CTOC17	岡田成幸	岡田成幸	地震発生時の切迫性を伝える災害情報モデルとシナリオの構築～北海道胆振東部地震からみえた新たな課題としての複合連鎖問題の解釈を通して～
9	17:00	3-(1)ウ	HRO_02	川上源太郎	川上源太郎	津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開
10	17:05	3-(1)ウ	CTOC02	牧紀男	牧紀男	ばらつきのある被害リスク評価をふまえた防災計画の検討
11	17:10	3-(1)ウ	CTOC05	川瀬博	川瀬博	強震観測点におけるサイト特性評価手法の開発に関する多国間共同研究Multi-national joint-research on the development of the evaluation scheme for site characteristics at strong motion observation sites
12	17:15	3-(1)イ	HKD_05	谷岡勇市郎	谷岡勇市郎	巨大地震に伴う海底斜面崩壊による津波の事前評価・即時予測に関する研究
13	17:20	3-(1)イ	CTOC18	浅井光輝	浅井光輝	地震シナリオの不確実性を考慮した津波被害の確率論的評価
14	17:25	3-(1)イ	CTOC04	佐竹健治	佐竹健治	不均質な断層すべり分布を考慮した津波の確率論的予測と不確実性の評価

1F	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	3-(2)イ	THK_12	太田雄策	太田雄策	海陸測地データを活用したプレート境界面すべり即時把握能力の向上とそれにもとづく津波即時推定手法の高度化
2	16:20	3-(2)イ	HRS_02	前田拓人	前田拓人	データ同化に基づく津波現況把握と即時予測の高度化
3	16:25	3-(2)ウ	DPRI12	藤田正治	藤田正治	噴火後の土石流および泥流の発生に関する観測と予測手法の開発
4	16:30	3-(2)ウ	ERL17	前野深	前野深	堆積物に基づく噴火物理化学パラメータ推定手法の高度化と事象分岐判断への活用
5	16:35	3-(2)ア	JMA_06	山本剛靖	山本剛靖	地震動・津波即時予測の高度化に関する研究
6	16:40	3-(2)ウ	JMA_07	新堀敏基	新堀敏基	火山噴出物の監視技術とデータ同化に基づく輸送予測に関する研究
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	4-(1)	NGY_06	室井研二	室井研二	被害の地域的な発現過程とコミュニティの社会・空間構造に着目した地震・津波災害発生機構に関する文理融合的な研究
8	16:55	4-(1)	UTH_02	杉森玲子	杉森玲子	近代以前の地震・火山災害に関する多角的な研究
9	17:00	4-(2)	CTOC12	秦康範	秦康範	訪日外国人旅行者に対する地震・火山に関する情報提供と風評被害対策に関する事例分析 - 2018年胆振東部地震、2018年大阪府北部地震、2018年草津白根噴火、2015年箱根山噴火を対象として -
10	17:05	4-(2)	DPRI14	矢守克也	矢守克也	災害リテラシーの育成のためのオープンサイエンス手法の検討
11	17:10	4-(2)	HKD_07	橋本雄一	橋本雄一	地理空間情報の総合的活用による災害への社会的脆弱性克服に関する人間科学的研究
12	17:15	4-(2)	HYG_02	澤田雅浩	澤田雅浩	地震観測研究の成果を活用した土地利用に係る事例収集に基づく枠組みの提案
13	17:20	4-(2)	NGT_02	田村圭子	田村圭子	地震・火山噴火災害における被害軽減のために利活用可能な要素・知識体系の整理・検証

1G	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	16:15	5-(3)ア	MFRI02	本多亮	本多亮	火山モニタリングと地下水流動把握のための多点連続重力観測
2	16:20	5-(3)ア	NICT01	中川勝広	中川勝広	先端リモートセンシングによる地震及び火山の被害状況把握技術の高度化
3	16:25	5-(3)ア	JMA_10	市川真人	市川真人	潮位観測
4	16:30	5-(3)ア	JMA_11	山際龍太郎	山際龍太郎	地磁気精密観測
5	16:35	5-(3)エ	JMA_13	有田真	有田真	地磁気観測成果のデータベース化
6	16:40	5-(3)ウ	HKD_08	高橋浩晃	高橋浩晃	地殻変動等多項目データの全国流通一元化公開解析システムの高度化
	16:45					休憩(予備)
7	16:50	5-(3)ウ	KOC_02	大久保慎人	大久保慎人	地震波形データ流通のための、新WIN伝送プロトコルの検討・開発
8	16:55	5-(3)ウ	ERI_24	中川茂樹	中川茂樹	マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発
9	17:00	5-(3)エ	ERI_25	鶴岡弘	鶴岡弘	研究成果共有データベースの構築
10	17:05	5-(3)ア	AIST11	宝田晋治	宝田晋治	アジア太平洋地域地震・火山ハザード情報整備
11	17:10 (10分)	5-(3)ア	GSI_04	宗包浩志	宗包浩志	GNSS連続観測(GEONET)
		5-(3)ア	GSI_05	宗包浩志	宗包浩志	地形地殻変動観測
		5-(3)ア	GSI_06	宗包浩志	宗包浩志	物理測地観測
		5-(3)ア	GSI_07	宗包浩志	宗包浩志	宇宙測地技術による地殻変動監視
		5-(3)イ	GSI_08	宗包浩志	宗包浩志	GNSS観測・解析技術の高度化
		5-(3)エ	GSI_09	宗包浩志	宗包浩志	全国活断層帯情報整備
		5-(3)エ	GSI_10	宗包浩志	宗包浩志	火山基本図・火山土地条件図整備
5-(3)エ	GSI_11	宗包浩志	宗包浩志	地殻活動データベース整備・更新		

フラッシュトークセッション(2) 3/17(水) 11:20-12:00

2A	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	1-(1)ウ	AIST03	石塚吉浩	石塚吉浩	地質調査に基づく火山活動履歴の解明と年代測定手法の高度化
2	11:25	1-(1)ウ	AIST04	宍倉正展	宍倉正展	津波浸水履歴情報の整備
3	11:30	2-(1)ア	AIST08	宍倉正展	宍倉正展	海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明
4	11:35	1-(2)地	HMEV01	佐竹健治	佐竹健治	地震火山関連史料に基づく低頻度大規模地震火山災害の調査
5	11:40	1-(2)地	UTS_02	田中愛幸	田中愛幸	巨大地震に伴う粘弾性余効変動の解明
6	11:45	1-(3)ア	ERL04	亀伸樹	波多野恭弘	非線形動力学・計算材料科学との学際連携に基づく地震現象の多様性の統一的理解
7	11:45	1-(3)ア	UTS_03	井出哲	井出哲	地震発生場のテクトニクスとマルチスケール地震現象の予測可能性

2B	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	1-(5)ア	ERL08	望月公廣	望月公廣	日本・NZ国際協力によるヒ克蘭ギ沈み込み帯における多様な地震活動と、その発生環境との関係の解明
2	11:25	1-(5)ア	THK_06	東龍介	東龍介	スラブ内地震の発生メカニズムに関する研究
3	11:30	1-(5)ア	DPRI01	伊藤喜宏	伊藤喜宏	津波生成過程の理解に向けた浅部スロー地震の活動様式・発生場の解明とモデル化
4	11:35	1-(5)ア	DPRI02	澁谷拓郎	澁谷拓郎	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域での総合的観測研究
5	11:40	1-(5)ア	THK_05	趙大鵬	趙大鵬	世界各地の大地震発生域との比較研究に基づく地震・火山現象の理解
6	11:45	1-(5)ア	IRID02	木戸元之	木戸元之	GPS-A観測による効率的な上下変動検出技術の開発と根室沖観測への適用

2C	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	2-(1)イ	DPRI05	西村卓也	西村卓也	測地観測データに基づく内陸地震長期評価手法の開発
2	11:25	2-(1)イ	NGY_03	鈴木康弘	鈴木康弘 松多信尚	変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討
3	11:30	2-(1)ア	NIED02	汐見勝彦	汐見勝彦	地震・津波予測技術の戦略的高度化研究
4	11:35	2-(1)ア	NIED03	齊藤竜彦	齊藤竜彦	巨大地震による潜在的ハザードの把握に関する研究
5	11:40	2-(2)ア	ERL_12	蔵下英司	蔵下英司	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究
6	11:45	2-(2)ア	KUS_01	宮崎真一	宮崎真一	地殻活動データの同化による沈み込みプレート境界面すべり予測に関する研究

2D	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	2-(4)イ	JMA_05	菅野智之	菅野智之	化学的手法に基づく火山活動監視・予測に関する研究
2	11:25	2-(4)イ	AIST10	下司信夫	下司信夫	噴出物の物質科学的解析に基づくマグマ供給系-火道システム発達と噴火推移過程のモデル化
3	11:30	2-(4)イ	HRO_01	高橋良	高橋良	北海道内の活火山の地球物理学的・地球化学的モニタリング
4	11:35	2-(5)	KOBO06	佐藤鋭一	佐藤鋭一	火山活動推移に対応したマグマ供給系の変遷モデルの構築
5	11:40	2-(5)	KOBO15	伴雅雄	伴雅雄	蔵王山、過去約800年間の活動の噴火推移の類型化
6	11:45	2-(5)	THK_11	西村太志	西村太志	多項目観測データに基づく火山活動のモデル化と活動分岐判断指標の作成

2E	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	備考
1	11:20	3-(1)エ	DPRI10	釜井俊孝	釜井俊孝	火山地域を含む地震地すべり発生場の評価と斜面における強震動及び不安定化の事前予測手法の展開
2	11:25	3-(1)エ	IRID03	佐藤源之	佐藤源之	地表設置型合成開口レーダ(GB-SAR)による地表面変位計測の高精度化
3	11:30	3-(1)エ	CTOC08	洞岡良介	洞岡良介	火山砕屑物からなる斜面の崩壊に対する地震とその前後の降雨の影響評価
4	11:35	3-(1)エ	CTOC14	齊藤隆志	齊藤隆志	巨大地震による斜面災害発生個所の事前予測方法の検討
5	11:40	3-(1)エ	CTOC15	松四雄騎	松四雄騎	テフラ堆積域における地震動に伴う斜面崩壊の発生場と規模の予測

2F	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	4-(2)	KUS_03	大倉敬宏	大倉敬宏	阿蘇で学ぶ地震・火山災害への備え
2	11:25	4-(2)	HYG_01	阪本真由美	阪本真由美	地震・火山観測データを活用した減災・復興モデルの構築とリスクコミュニケーションに資する事例収集
3	11:30	4-(2)	DPRI13	中道治久	中道治久	桜島火山における地域との連携による火山災害に関する社会の共通理解醸成のための研究
4	11:35	4-(2)	IRID06	杉浦元亮	杉浦元亮	災害に関わる個人の心理・行動特性とその評価・活用・調整に関する研究
5	11:40	4-(2)	TYM_03	井ノ口宗成	井ノ口宗成	地震学・火山学の知見に基づくコンパクトシティをデザインする情報科学からの被災生活シミュレーション
6	11:45	4-(2)	NGY_07	山岡耕春	山岡耕春	御嶽山地域の防災力向上の総合的推進に関する研究

2G	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	11:20	5-(3)イ	NGY_08	山中佳子	山中佳子	小電力・小型・携帯テレメータ地震観測装置の改良開発
2	11:25	5-(3)イ	ERI_22	篠原雅尚	篠原雅尚	海底ケーブルを用いる地震・地殻変動・津波リアルタイム観測技術開発
3	11:30	5-(3)イ	ERI_23	塩原肇	塩原肇	海底での地震・地殻変動観測に向けた機動的観測技術の高度化
4	11:35	5-(3)イ	KOC_01	大久保慎人	大久保慎人	地震動観測点観測環境の時間変化把握に向けた、解析手法の検討・開発
5	11:40	5-(3)イ	ERI_21	田中宏幸	田中宏幸	高精細ミュオグラフィ画像自動診断による火山活動状況の推移との相関評価
6	11:45	5-(3)イ	ERI_20	新谷昌人	新谷昌人	光技術を用いた地下深部・火山近傍における地震・地殻変動計測技術の確立

フラッシュトークセッション(3) 3/17(水) 13:00-13:40

3A	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	1-(3)ア	ERI.05	篠原雅尚	篠原雅尚	千島海溝・日本海溝における複合海底地震測地観測によるプレート境界の挙動解明とそのモデル化
2	13:05	1-(3)ア	THK 01	岡田知己	岡田知己	国際共同研究によるニュージーランドにおける地震発生機構の解明
3	13:10	1-(2)火	ERI 03	前野深	前野深	大規模噴火に伴う諸現象とそれを駆動するマグマ溜りー火道システムの解明
4	13:15	1-(2)火	HKD 02	栗谷豪	栗谷豪	大規模噴火に関わるマグマプロセスの時間スケールの解明
5	13:20	1-(3)イ	ERI.06	中谷正生	中谷正生	より現実的な断層面ダイナミクス
6	13:25	1-(3)イ	RTM 01	小笠原宏	小笠原宏	南アフリカ大深度金鉱山からの地震発生場における応力と物質の直接調査

3B	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	1-(5)ウ	KOBE01	島伸和	島伸和	鬼界海底カルデラにおけるマグマ供給系の構造・進化の解明
2	13:05	1-(5)ウ	TIT 03	寺田暁彦	寺田暁彦	水蒸気噴火の準備過程を捉えるための火山熱水系構造モデルの精緻化
3	13:10	1-(5)ウ	AORI02	佐野有司	佐野有司	地球物理・化学的探査による海底火山および海底熱水活動の調査
4	13:15	1-(5)ウ	THK 08	山本希	山本希	集中地震観測による火山体構造・火山現象発生場の解明
5	13:20	1-(5)ウ	KOBO11	大場武	大場武	水蒸気噴火が懸念される火山におけるマグマ起源流体の挙動解明と火山活動評価
6	13:25	1-(5)エ	KYU 01	相澤広記	相澤広記	地震火山相互作用下の内陸地震空間ポテンシャル評価

3C	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	2-(2)ア	THK 09	内田直希	内田直希	繰り返し地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング
		5-(3)イ	THK 13	内田直希	内田直希	地震・火山データの無線伝送技術の開発
2	13:05	2-(2)ア	JAMS01	堀高峰	堀高峰	地震発生帯モデリング研究
3	13:10	2-(2)ア	AIST09	松本則夫	松本則夫	地下水・地殻変動観測による地震予測精度の向上
4	13:15	2-(2)ア	JMA 01	小林昭夫	永田広平	地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究
5	13:20	2-(3)	THK 10	長濱裕幸	長濱裕幸	地殻変動に伴う大気中ラドン濃度変動
6	13:25	2-(3)	CBA 01	服部克巳	服部克巳	電磁気学的な地震先行現象の総合的研究

3D	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	2-(5)	DPRI06	井口正人	井口正人	インドネシアの活動的火山における火山活動推移モデルの構築
2	13:05	2-(5)	DPRI07	中道治久	中道治久	桜島火山における火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測のための総合的観測研究
3	13:10	3-(1)ア	DPRI08	関口春子	関口春子	広帯域強震動予測の高度化に関する研究
4	13:15	3-(1)ア	DPRI09	岩田知孝	岩田知孝	断層破壊過程と極大強震動生成に関する研究
5	13:20	3-(1)ア	ERI 14	古村孝志	古村孝志	大規模数値シミュレーションに基づく広帯域強震動災害の事前・即時予測
6	13:25	3-(1)ア	ERI 15	酒井慎一	酒井慎一	首都圏の地震被害分布と地震像の解明

3E	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	3-(1)オ	DPRI11	為栗健	為栗健	火砕流の発生と流下予測
2	13:05	3-(3)地	CTOC10	倉田真宏	倉田真宏	建物の応答を考慮した高精度地震情報配信手法の開発
3	13:10	3-(3)地	CTOC19	蝦名裕一	蝦名裕一	文化財等の所在情報と災害情報の重ね合わせによる文化財等災害予測マップの構築と活用
4	13:15	3-(3)地	III 01	関谷直也	関谷直也	ニーズ・アセスメントに基づく地震・火山災害に関する発生確率、被害想定、災害情報のコミュニケーション戦略の開発
5	13:20	3-(3)地	CTOC16	大西正光	大西正光	桜島大規模火山噴火を対象とした事前避難を実現するためのリスクコミュニケーション方法に関する実践的研究
6	13:25	3-(3)火	HKD 06	橋本武志	橋本武志	火山活動即時解析表示システムの開発

3F	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	4-(2)	IRID05	蝦名裕一	蝦名裕一	歴史地形の復元・可視化手法の確立と災害発生要因の分析
2	13:05	2-(4)イ	JMA 03	潟山弘明	長谷川嘉彦	火山活動に伴う地殻変動の把握及び評価
		5-(1)	JMA 08	高木朗充	長谷川嘉彦	火山活動の総合判断
		5-(3)ア	JMA 12	重野伸昭	長谷川嘉彦	全国における火山観測の強化
		5-(3)エ	JMA 15	山本哲也	長谷川嘉彦	火山現象に関する基礎データの蓄積と活用
3	13:10	5-(3)ア	ERI 18	加納靖之	加納靖之	観測研究データへの永続的識別子付与
4	13:15	5-(3)ア	ERI 19	鶴岡弘	鶴岡弘	データ流通網の高度化
5	13:20	1-(5)イ	GSI 01	宗包浩志	宗包浩志	内陸の地殻活動の発生・準備過程の解明
		2-(2)ア	GSI 02	宗包浩志	宗包浩志	プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握
6	13:25	2-(4)イ	GSI 03	宗包浩志	宗包浩志	火山地域のマグマ供給系のモデリング

3G	開始時刻	建議項目	課題番号	代表者	発表者	課題名
1	13:00	5-(3)ア	NIED05	青井真	青井真	基盤的観測網の運用
2	13:05	5-(3)ア	JCG 01	渡邊俊一	石川直史	海洋測地の推進
		5-(3)ア	JCG 02	林王弘道	石川直史	験潮
		5-(3)イ	JCG 03	石川直史	石川直史	海底地殻変動観測
3	13:10	5-(3)エ	JCG 04	藤原琢磨	新庄健之	海域火山観測
4	13:15	5-(6)	JMA 16	福満修一郎	福満修一郎	地震・津波・火山防災情報の改善に係る知見・成果の共有
		5-(6)	JMA 17	福満修一郎	福満修一郎	防災・減災に関する知識の普及啓発